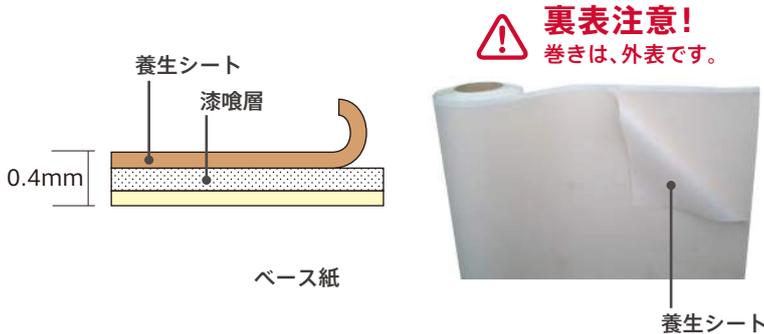


ベルビアン漆喰ルマージュ基本構造図

養生シートは貼り付け翌日以降剥がします。施工後硬化が進み、さらに硬くなります。

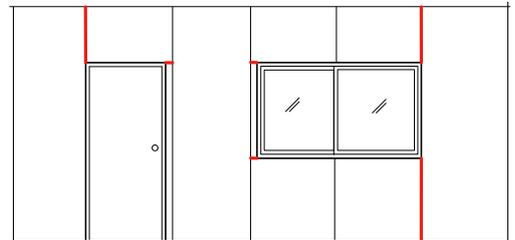


施工に特に必要な工具、材料

- ルマージュコーク
- 乾いた白いタオル
- 下敷きテープ (同梱)
- 硬質ジョイントローラー
- グラスファイバーテープ

① 下地調整

- 下地の凹凸を拾い易い材料です。平滑な下地になるようパテ掛け、パテ擦りを入念に行ってください。
- コンクリート、モルタル、合板、金属板等の下地の場合、アク止めのため、**アクリル樹脂系のシーラー原液**で処理をして下さい。
*合板下地は、シーラー処理でもアクが出る場合があります。
- ダイライト下地は、変色するため施工できません。
- 石膏ボードと合板などの**異種材料のジョイント**や右図の位置には**グラスファイバーテープ**を入れ、パテ処理はできるだけ平滑にしてください。



建具や開口の枠に沿ったボードジョイント(赤線)は動きやすいためグラスファイバーテープを入れて下さい。

② 糊付け

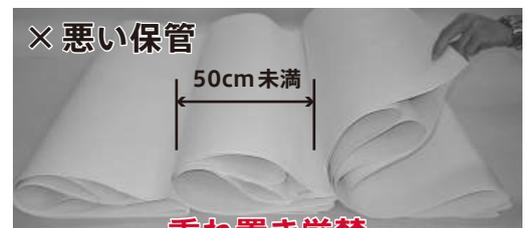
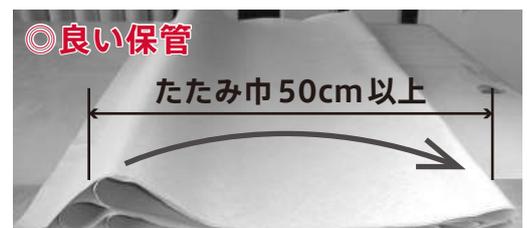
- 糊は、既調合タイプの「ウォールボンド100」(矢沢化学工業)または「ハイワーク」(ヤヨイ化学工業)をご使用下さい。
- 塗布量は上記指定糊の標準範囲内としてください。まず、「中程度」ではじめて下さい。
※塗布量が少なく接着が不十分だと、浮きの原因になります。
- 無塗装の木材(浸透性塗料を塗布した場合も含む)に漆喰ルマージュの糊が付着すると木材が変色する場合があります。糊が付く恐れのある部分は予め、①マスキングテープを貼る、②漆喰ルマージュ端部の糊面にカットテープを貼る、の何れかの方法で養生して下さい(この現象は、漆喰のアルカリ分が糊に溶出して木材を変色させるために起こります)。



糊付けは壁紙同様、糊付け機を使用してください。糊付けローラーに漆喰ルマージュを接触させた状態のままにしておくと、漆喰のアルカリによりローラーが変色する場合があります。

③ 施工可能時間と折り畳み方

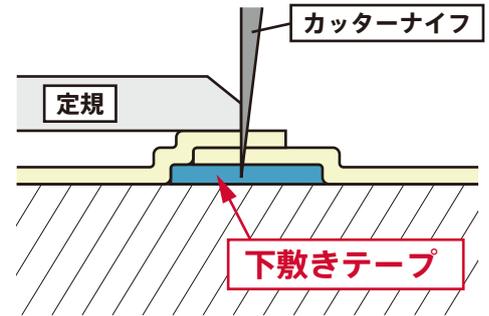
- 糊付け後、一般的な壁は30分以内に使い切って下さい(時間の経過と共にシワが付きます)。
- 天井と吹き抜けは、糊付け後、直ちに施工して下さい(天井や吹き抜けは特に折れジワが発生し易いため、糊付け材料の取り置きは避けて下さい)。
- うませ伸びは殆どないため、糊付け後、直ちに施工可能です。
- たたみ巾は50cm以上とし、均等に折り畳んでください。施工中も強く折り曲げないようにご注意ください。
- 右図の状態を持ち運ぶと、折れジワが付きます。折れないように注意して運んでください。
- 腰が強いので、糊付け後、立てて保管することもできます。



④ 貼り付け

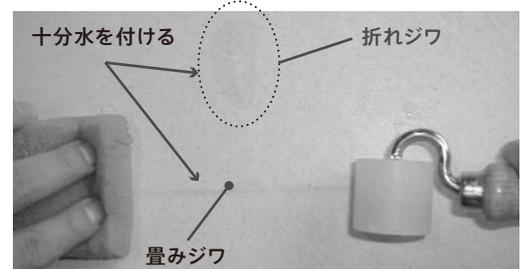
基本事項

- 仕上り幅は920mm以下で、両側20mmは使用しないで下さい。
- ジョイントは重ね切りとし、定規を使って下さい。
- 下地を切らないように、同梱の下敷きテープをご使用ください(下地を切ると後々、ジョイントが開きます)。
- 貼り付けにはスモーカーを使って空気を抜くようにしっかり押えて下さい。
※押えが不十分だと、浮きの原因になります。
- 養生シートに糊がついた場合は、きれいな水で拭き取ってください。入り隅や天井に付いた場合も水で拭き取して下さい。糊が残ると黄変する場合があります。



折れジワの直し

- 施工中万が一、畳みジワ、折れジワが見ついた場合は、十分水を付けて平滑になるまでローラー掛けて下さい。
- 畳みジワ、折れジワ箇所は養生シートの上から白く変色して見えます。
- この作業は、糊が乾く前に養生シートの上から行って下さい。糊が乾いてくると、シワの箇所が特定できず、また修復も困難になります。
- 貼り込み作業中、畳みジワを発見した場合にはそのシートは直ちに破棄して下さい。
- 折れジワは、投光器で射光を入れると影になります。施工後、直ちにチェックして下さい。



入り隅

- 入り隅は必ず入り隅ジョイントとし、薄ベラで切り取った後、養生シートを剥がし、専用のルマージュコークを入れる方法を標準とします。
- 入り隅の上部や下部は無理に折り曲げず、入り隅に沿ってカッターで切れ目を入れてから曲げて下さい。



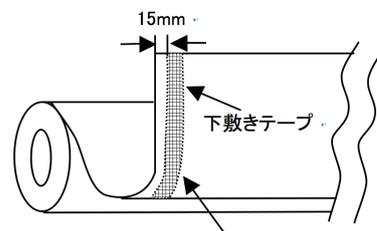
出隅

- 出隅は、乾いたタオルで強く擦って摩擦熱で曲げて下さい。強く擦ると養生シートが毛羽立ちますが、後で取り去るため仕上りには影響ありません。
- 貼り付け前に、コーナーの両側約5cmの部分にシーラーを塗っておくと、浮き(膨れ)を抑えることができます。



天井と吹き抜けの施工

- ベルビアン漆喰ルマージュは、折れジワが付き易いため天井への施工は2人作業とし、1人は天井の片側から貼り付け、もう1人は補助役として下さい(1人の場合は補助具をお使い下さい)。
- 吹き抜けも2人作業とし、下から上へ引き上げてから貼り付けて下さい。
- 天井と吹き抜けは、糊付け後、直ちに施工して下さい。
- 無理につかんだり、2階の足場から落とすと漆喰が壊れて剥がれ落ちることがあります。
- 浮きがあったら、浮き部分に糊を注入し、ローラーで押えて下さい。



天井施工時の落下防止のため、下敷きテープを15mm程度内側に貼り付けて下さい。

⑤ 養生シートの剥がし

- 養生シートは貼り付けてから翌日以降に剥がして下さい。糊が乾いていないと漆喰層が剥離します。
- 養生シートは必ず剥がして下さい。養生シートを剥がした仕様で、F☆☆☆☆、防火材料として認定されています。

◆浮きのチェックと糊の注入

- 養生シートを剥がす前に浮きをチェックして下さい。
- 浮きがあったら、浮き部分に糊を注入し、ローラーで押して下さい。

◆ジョイントの仕上げ

- 養生シートの上からジョイントに隙間が見える場合は、剥がす直前にルマージュコークを小型のパテベラ等で擦り込み、直ちに剥がして下さい。

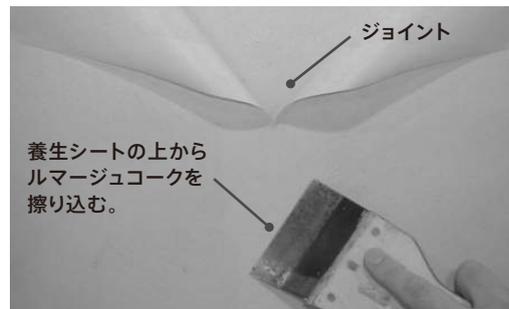


ルマージュコーク (同色、別売)

◆入り隅の仕上げ方法

ルマージュコークを入れる方法が標準です。

- 入り隅のコークは養生シートを剥がした後で周囲につけないように行って下さい。
- 濡れスポンジなどでの拭き取りは禁止です。
- コークは、一発仕上げとして下さい。



⑥ 養生シートを剥がした後の傷などの補修方法

- 養生シートを剥がしたら水を付けないようにご注意下さい。水がつくと白く変色します。

万が一折れジワがあった場合

- 無水エチルアルコール(薬局販売)を付け、養生シートをあてがってローラー掛けして下さい。
- 硬質のジュラコンローラーをお使い下さい。



硬質ローラー

曇みジワ・折れジワ個所の艶が落ちている場合

- 乾いた白い布で擦って下さい(布で擦ると艶が出てきます)。



乾いた布

小さな傷の修復

- 同色の補修パテを傷の所だけ塗って下さい。塗り広げると、風合いが変わります。補修パテが必要な場合は、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

大きな傷の修復

- 大きな傷が発生した場合には、入り隅から入り隅まで重ね貼りして下さい。その際は、修復しない面に糊がつかないようにマスキングして下さい。

マスキングテープは、漆喰ルマージュの変色を避けるために次のものをご使用下さい。

No.2311(ニチバン)、
SB246S・SB246・G S-21・S R-100(カモイ製)、
No.725・PT-6(日東製)

⑦ 汚れの除去方法

鉛筆や軽い手垢など

普通のプラスチック消しゴムで落とします。



消しゴムで落ちない場合

- よく絞ったメラミンスポンジで軽く擦り、すぐに乾いたタオルで水分を拭き取って下さい。
- 水が表面についたままだと白く変色する場合があります。
- 僅かに風合いが変わる場合があります。



お問い合わせ先